

《担当者名》吉田 繁

【概要】

臨床検査学総論は臨床検査の基礎となる学問である。臨床検査技師を志す学生諸君が最初に学ぶ臨床検査の専門的科目であることから、臨床検査技師としての心構えや臨床検査の全体像を理解した上で、臨床検査全てに関連する検体の採取方法や取扱方法を学び、次いで、一般検査の主要な検体である尿について学び、その各種成分を対象とした検査の種類、測定原理や意義を理解する。

【学修目標】

- 1) 臨床検査に必要な知識と技術を修得するために、臨床検査技師としての心構え、及び一般検査の種類や意義を理解する。
- 2) 臨床検査の歴史や医療における重要性を理解し、臨床検査技師の使命を説明できる。
- 3) 検体を取り扱う場合の一般的注意事項を理解し説明できる。
- 4) 正常な尿の生成機序や尿中成分を理解し説明できる。
- 5) 尿中の各種成分の測定原理、方法および意義を理解し説明できる。
- 6) 測定対象項目の測定に影響を与える共存物質を説明できる。
- 7) 測定結果と病態変化との関係を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	臨床検査技師の使命と役割	・臨床検査発展の歴史と臨床検査技師の業務 教科書：検査総合管理学 第1章	吉田 繁
2	臨床検査の意義	・臨床検査の種類と目的、検査部門の役割 ・臨床検査における心構えと注意事項 教科書：検査総合管理学 第2章	吉田 繁
4	尿の基礎知識検体の取扱方法	・尿の生成機序と組成 教科書：一般検査学 第2章-I、II、III	吉田 繁
3	検体の取扱方法	・検体採取法と取扱方法（尿、便、喀痰、血液、胃液・十二指腸液、脳脊髄液、咽頭粘液、膿、穿刺液、その他体液） キーワード：検体採取、保存方法、採取容器、採血	吉田 繁
5	尿検査	・尿試験紙の取扱方法と注意点 教科書：一般検査学 第2章-IV	吉田 繁
6	尿検査	・尿比重、尿浸透圧の検査方法 教科書：一般検査学 第2章-V-1、2、3	吉田 繁
7	尿検査	・尿蛋白の種類と臨床的意義 教科書：一般検査学 第2章-V-4	吉田 繁
8	尿検査	・尿蛋白の測定方法と意義 教科書：一般検査学 第2章-V-6	吉田 繁
9	尿検査	・ベンスジョーンズ蛋白と測定方法と意義 教科書：一般検査学 第2章-V-5	吉田 繁
10	尿検査	・尿糖の測定方法と意義 教科書：一般検査学 第2章-V-7	吉田 繁
11	尿検査	・尿糖定量、アセトン体の測定方法と意義 教科書：一般検査学 第2章-V-7、8	吉田 繁
12	尿検査	・ビリルビン、ウロビリノゲンの測定方法と意義 教科書：一般検査学 第2章-V-9、10	吉田 繁
13	尿検査	・血尿、ヘモグロビン尿、ミオグロビン尿の測定方法と意義 教科書：一般検査学 第2章-V-11	吉田 繁
14	尿検査	・亜硝酸塩、白血球反応の測定方法と意義 教科書：一般検査学 第2章-V-12、13	吉田 繁

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
15	尿検査	<ul style="list-style-type: none"> ・検査結果の評価 ・尿検査結果から症例を考える。 キーワード：CKD、糖尿病、尿路感染症、多発性骨髄腫	吉田 繁

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 80% 小テスト 20%

【教科書】

三村邦裕 他 編集「最新 臨床検査学講座 一般検査学 第1版」 医歯薬出版 2016年

高木 康 他 編集「最新 臨床検査学講座 検査総合管理学 第1版」 医歯薬出版 2016年

【参考書】

伊藤機一 他 編集「標準臨床検査学 臨床検査総論 第1版」 医学書院 2015年

河合 忠 他 編集「最新尿検査 - その知識と病態の考え方 - 第2版」 メディカル・ジャーナル 2016年

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 監修「JAMT技術教本シリーズ 一般検査 技術教本」 丸善出版 2017年

池本正生 他 監訳「プルンツェル 尿・体液検査 - 基礎と臨床 - 」 西村書店 2007年

二宮治明 「N教授の生理学講義ノート」 日本医事新報社 2016年

岡庭 豊 他 「病気が見えるVol.8 腎・泌尿器 第3版」 メディックメディア 2019年

岡庭 豊 他 「病気が見えるVol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第5版」 メディックメディア 2019年

岡庭 豊 他 「病気が見えるVol.5 血液 第2版」 メディックメディア 2017年

岡庭 豊 他 「病気が見えるVol.6 免疫・膠原病・感染症 第2版」 メディックメディア 2018年

福島亜紀子 「ポケットマスター臨床検査知識の整理 一般検査」 医歯薬出版 2019年

【備考】

その都度プリントを配布する。

クリッカーを使用した双方向型授業を行う。

確認のための小テストをおこなう。

【学修の準備】

次回の授業内容について、教科書を読み理解しておくこと。（80分）

復習は、教科書や配付資料、小テストを活用し学習を深めること。（80分）

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP2）臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

【実務経験】

臨床検査技師

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、検体採取から結果の解釈までに関する基本的知識を講義する。